

■米国：Sempra 社、15 億ドル規模の太陽光資産を ConEd 社に売却

大手電力・ガス持株会社の Sempra Energy 社（本社：カリフォルニア州）は 2018 年 9 月 20 日、米国内に保有する太陽光発電資産、蓄電池開発プロジェクト、および 1 基の風力発電設備を Consolidated Edison（ConEd）社（本社：ニューヨーク州）に 15 億 4,000 万ドルで売却することで合意に至ったことを発表した。売却する発電設備容量の合計は約 98 万 kW で、Sempra Energy 社の傘下にある競争部門の資産に限られている。同社は、2018 年 6 月に「事業ポートフォリオの最適化計画」を公表しており、今回の資産売却はその一環の取り組みとされている。なお、売却は 2018 年末までに行われる予定であり、ConEd 社は米国で 2 番目に大きな太陽光発電事業者となる。